

本年度の目指す生徒の姿
 ○学校のしくみを理解し、高校生活に展望が持てる生徒
 ○学びの価値に気づいて、学びに真摯に向き合う生徒
 ○夢や希望を抱き、その実現を目指す生徒



取組の視点

生徒
 ○価値を与えて、気づきを促す
 ○自己肯定感を醸成し、展望を拓く
 ○安全安心な学習環境の確保

教職員
 ○原点に戻る（ねらいの意識化・明確化）
 ○優先順位、スクラップ&ビルドを意識

重点目標	学校自己評価				学校関係者評価
	本年度の具体的方策	評価指標	評価結果	次年度以降への改善策	
学びのある授業	わかる面接指導(授業)を実践する。 報告課題(レポート)の内容改善と添削指導の充実を図る。	生徒アンケートにより、「わかりやすい」の割合が、70%以上…A、60%以上…B、60%未満…C			
居がいのある学校生活	特別活動を通して、教師と生徒及び生徒相互における信頼感・連帯感の育成を図り、学校や集団への帰属意識を高める。	行事参加者のアンケートにより、「満足した」の割合が、70%以上…A、60%以上…B、60%未満…C			
進路や生き方につながる履修計画	進路講座の充実や複数回の体験活動を通して、生徒の進路実現に向けた適切な指導ができるようにする。	教員アンケートにより、「適切な指導ができた」の割合が、70%以上…A、60%以上…B、60%未満…C			
困難な状況の生徒への支援	情報交換を通して、相談が必要と思われる生徒には相談室での相談を勧め、保護者との連携も深めながら生徒の不安の解消を目指す。	生徒アンケートにより、「適切な指導をしている」の割合が、70%以上…A、60%以上…B、60%未満…C			
開かれた学校、外部資源の活用	学校ホームページの充実を図る。	アクセス数が、月に10,000以上…A、7,000以上…B、7,000未満…C			
	家庭や地域に向けて積極的に情報発信を行う等、広報活動の充実を図る。	保護者アンケートにより、「情報が確実に届いている」の割合が、70%以上…A、60%以上…B、60%未満…C			
安全安心な学習環境の確保	定例打合せ時の生徒に関する情報交換から、人間関係が心配される生徒については教員に注意を促し、いじめのない学校を目指す。	生徒アンケートにより、「適切な指導をしている」の割合が、70%以上…A、60%以上…B、60%未満…C			